

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-710	23-327	慶應義塾大学 加藤眞三
題名 (原題/訳)		
<p>A crossroads between dietary habits, alcohol consumption, and smoking in the clinical course of psoriasis: a narrative review.</p> <p>乾癬の臨床経過における食習慣、飲酒、喫煙の交差点：物語のレビュー。</p>		
執筆者		
Michalski P(1), Palazzo-Michalska V(1), Buda P(2), Michalska-Bańkowska A(1), Bańkowski M(1),		
掲載誌		
Postepy Dermatol Alergol. 2023 Oct;40(5):599-605. doi:10.5114/ada.2023.129308. Epub 2023 Jul 5.		
キーワード	PMID	
乾癬、自己免疫疾患、遺伝的（非可変的）因子、ストレス	38028418	
要旨		
<p>乾癬は人口の1～3%が罹患する慢性の自己免疫疾患である。乾癬発症の病態機序は複雑であるが、遺伝的（非可変的）因子が重要な役割を果たしている。しかし、環境因子やライフスタイルの選択、例えば食事、アルコール摂取、喫煙などの重要性が増している。本レビューの目的は、乾癬の臨床経過に対する食習慣、アルコール摂取、喫煙の影響を分析することである。ストレス、不適切な食事、アルコールの過剰摂取、喫煙は、乾癬の誘因となるか、またはその悪化の原因となる。したがって、適切な治療法の選択に加えて、乾癬の発症と進行に対するこれらの要因の影響について患者を教育することが極めて重要である。この文献レビューは、乾癬患者には全体的かつ多分野にわたるアプローチが必要であることを確認し、さらにヒポクラテスの「汝の薬となる食物を食べ、汝の食物となる薬を飲め」という命題を強調している。</p>		